

2年生 大学模擬授業

10月21日

2年生は、10名の国公立大学の先生をお招きし大学模擬授業を受けました。高校生活の後半に入った2年生は、大学進学を本格的に意識し始めたところです。少し難しい専門的なお話を60分間、一生懸命に聴きました。さらに、10分間、大学や学部・学科の紹介をしていただきました。直接大学の先生のお話を聴いて、大学の学びを具体的にイメージすることができました。また、大学進学の夢や目標が見えてきた分、日々の授業の大切さを実感することができました。

模擬授業の様子

広島大学 教授 後藤 弘志 先生

「ロボット・人間・動物」～人間とは何か～



哲学という崇高な学問を、生徒への質問を交えて、分かりやすくお話ししてくださいました。

広島大学 准教授 斉藤 英俊 先生

「カキ筏の生態学」～筏の下で何がおこっているのか～

広島で生産が盛んなカキという、身近なテーマであったので、多くの生徒は熱心に集中して聴くことができました。



県立広島大学 講師 岡田 麻里 先生

「看護学」～病気や障害を抱えながらもその人らしく地域で暮らすことを支える看護～



在宅看護という身近な内容だったため、具体的イメージを浮かべやすく、興味・関心を持った生徒が多くいました。

県立広島大学 教授 粟島 浩二 先生

「なぜあのお店で買ってしまうのか」～繁盛店の秘密～



スライドが分かりやすく、例示が具体的で興味を持って聴くことができました。視覚的な販売戦略についてよく理解できました。

県立広島大学 准教授 竹本 康彦 先生

「ゲーム理論入門」

海水浴場に店を出店する際に場所をどのように選ぶのかなど具体例を用いてたいへんわかりやすく説明して頂きました。



九州大学大学院 准教授 平井 康之 先生

「日常品のデザイン」～家具・雑貨のデザイン入門～



生徒たちは多くのスライドを見ながら真剣に耳を傾けていました。高校生の頃の夢とは違う道に進んだけれど、「物を創る」ということは叶ったそうです。今回の模擬授業をきっかけに自分の進路に活かしてくれたらと思います。

山口大学大学院 教授 中村 秀明 先生

「生物から学ぶ、人工生命技術の工学的応用」

セールスマンや蟻などの具体的な例を用いて、高校生にも分かるように説明してくださいました。生徒も興味を持って聞いていました。



京都大学大学院 博士後期課程 臼田 泰如 先生 「“会話のルール”について考えてみる」

日常生活を考察することで、暗黙のルールや人のあり方を研究するという興味深い内容でした。



広島市立大学 教授 大庭 千恵子 先生 「国際学部」は何するところ？
「国際関係史 History of International Relations」という研究分野から考える



大庭先生のご専門の「国際関係史」とはどのような学問なのか、また、現在各国が抱える諸問題について、分かりやすくご教授いただきました。生徒たちは専門性の高い授業内容にとまどいながらも、緊張感を持って臨んでいました。

愛媛大学 准教授 梶原 郁郎 先生 「わかる」学力と「できる」学力
～教師が授業をつくるということ～

普段何気なく解いている計算を説明する難しさや、かみ砕いて教える難しさを、板書で分かりやすく教えて頂きました。生徒は真剣な表情で聴いていました。



「自分の夢や目標をみつけ、将来何を学びたいかを考えよう！」
がんばれ美高2年生！！